

校長のつぶやき

校長室便り 第27号

令和元年9月10日 山内



○9月8日 第五十六回 政宗公まつり

ー地域に学び，地域に育ち，地域を担う岩高生！ー

9月8日（日）全校生徒・職員が参加する「政宗公まつり」が開催されました。

「牛鬼」「伊達武者行列若武者隊」「少年少女剣士隊」「会場係」「給水係」「武者着付け係」「救護係」「ボランティアガイド」「撮影班」等「一人一役」を合い言葉に，30度を超える猛暑の中，業務内容に関わらず，岩高生一人一人が主役でした。チーフとして一年前からこの日のために準備を進めてきた佐々木恵先生はじめ岩高の先生方一人一人にも感謝いたします。私も牛鬼と共に行進し，途中牛鬼担ぎに参加させていただきましたが，本当に重いということが実感できました。

昨年までは欠席者が多い理由に「つまらないから」という岩高生が少なくなく，私は「当日は人生を左右するような貴重な人や言葉等との出会いがあるはずです。だから参加してください。」と呼びかけた結果，今年は本当に欠席者が少なかったようでうれしく思います。私も人生を左右するような出会いがありました。宇和島市役所の職員で，牛鬼保存会の会長の楠葉拓史さん（写真で牛鬼に乗っている方）です。はじめは荒々しい口調と，行動力に圧倒されましたが，実は繊細で気配りの方ということがわかりました。牛鬼係の岩高生や先生方一人一人に気を配り，行進中は沿道の市民一人一人に声をかけていました。今年の夏の甲子園に出場した宇和島東高等学校時代は生徒会長だったそうです。話を進めていくうちに，お互い同い年ということで本当に意気投合しました。この出会いを大切にしたいと思います。

もう一つの出会い。それはある岩高の生徒からの言葉です。「校長先生が，祭に出ないのは自分の可能性を否定するといったので，今日3年間ではじめて祭に参加しました。意外と面白いです。」この生徒，この言葉に出会えた政宗公まつりに心から感謝しています。

当日は同窓会役員の方々も横断幕をもって行進していただきましたが，本校は今年で創立90周年。これまで長い間この祭をはじめとする地域活動に育てていただき，また少なからず貢献もしてきたはずです。地域に学び，地域に育ち，地域を担う岩高生にとって政宗公まつりはなくてはならない地域行事だと確信しました。



ではこれで今回の校長のつぶやきはお終いとします。今回の短歌は校長の下手なものではなく，今年度の岩出山高等学校学校案内で紹介されている3年生の宍戸暖奈さんの作品を紹介します。

祭の日空に輝く牛鬼が

夏をまどって

通りすぎてく

